



平成 25 年 2 月 28 日

各 位

会 社 名 ザ・レジェンド・ホテルズ&トラスト株式会社
代 表 者 名 代表取締役 嶋田 秀子
(銘 柄 コ ー ド) 2 1 8 9
問 合 先 取締役 告野 充
(電 話) 0 3 - 5 3 6 5 - 3 2 0 1

特別損失の発生に関するお知らせ

平成 24 年 12 月期 (平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日まで) 決算において、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

当社は「直営型ホテル」の第 1 号として千葉県 の物件を予定しておりますが、現時点においては建設及び営業はいたしておりません。ホテル建設に向けて、土地の売買契約の締結、ホテル建物の設計、地元・行政との調整に基づき、平成 21 年 8 月 31 日に都市計画法の開発許可を受け、平成 22 年 3 月 9 日に建築基準法の建築確認済証の交付を受け、平成 23 年度よりホテル建設代金を調達すべく本格的にホテル会員権販売を行ってまいりました。

しかしながら、物件が千葉県の海沿いということで東日本大震災による地震と放射能への不安感により様子見に入られた方が多く、また当社のホテル運営経験が無いことを危惧されるお客様もおられた事等から当初計画よりも遅延しており、現在のところ着工予定は未定となっております。

このような状況を踏まえ、下記 2. に記載の通り当社は「直営型ホテル」(千葉県)の事業を継続しておこなってまいります。健全会計の観点から固定資産の減損に係る会計基準・同適用指針に基づき保守的に「直営型ホテル」の第 1 号に関わる建設設計料等の棚卸資産、土地代等の固定資産、及びファンド組成のための関係会社への出資金について減損処理を行い、また関係会社への立替金及び貸付金について貸倒引当を行いました。

これに伴い、たな卸資産評価損 165,647 千円、減損損失 40,143 千円、関係会社出資金評価損 200 千円、貸倒引当金繰入額 4,662 千円を特別損失として計上いたしました。

2. 今後の見通しについて

当社の主要事業は「ホテル開発・運営事業」であり、ホテル開発・運営をセットで行う「直営型ホテル」と、既存ホテル等の運営のみの受託を行う「運営型ホテル」の両方を並行して行っていく方針であります。

上記企業会計ルールに基づいて減損処理を行ったことと「直営型ホテル」(千葉県)の事業継続性は別個の問題であり、今後も「直営型ホテル」(千葉県)の会員権販売を継続して行うとともに、第 2 号「運営型ホテル」の運営を受注し運営実績を上げホテル運営の基盤作りと信用力向上を図ることが、「直営型ホテル」の会員権販売の加速に繋がると考えております。

以 上